

特集

地域診断のチカラをつける 基礎教育から現任教育へ



2011年のカリキュラム改正により保健師基礎教育では実習が4単位から5単位に増えた。基礎教育の中で地域診断は重要な項目であり、教室での学びから実習での学びへ展開できることが不可欠である。教材やプログラムなどの工夫を通じて、地域診断能力の効果的学びと、その学びがその後の保健師としての実践にどのように生かされていくかを考える。

- 保健師教育における地域診断技術教育の意義と到達目標
- 実践活動に活かす地域診断のフィールド教育と現任教育とのリンク
島根県立大学の取り組み
- 公衆衛生看護学臨地実習における地域診断課題の展開
中部大学の取り組み
- 個別事例から始める「地区診断」演習
学生の学びを深める演習用教材の工夫
- 地域で活躍する住民から学ぶ地域診断演習
福井大学の取り組み
- 地域診断の実践に向けた現任教育
ワークショップによる取り組み